

# 別中ありがとう

別所中学校学校通信  
2022年度 NO.3  
5月30日(月)発行

## 学校行事の多い6月

月間予定を見るとわかりますが、3年生は修学旅行、1・2年生は校外学習からスタートし、そこから人権作文・標語発表会、3年生実力テスト、期末テスト、生徒総会、三木市総合体育大会と6月は多くの行事予定が組まれています。これまで新型コロナウイルス感染症の影響で延期したり、実施できなかつたりしたことを思えば、こうした行事を予定通り実施できることはうれしいことではあります。



しかし、毎週のように大きな行事が組まれていると学校生活に忙しさを感じる人も出てくるのではないのでしょうか。「忙しい」の「忙」は、りっしんべんに「亡」という漢字でできています。りっしんべんは、「心」という漢字を基にしているので、「忙」という漢字は「心を亡くす」と読むことができます。忙しくなると心に余裕がなくなってしまうことを「心を亡くす」と表現したのかもしれない。

一方で、多くの行事を経験することは充実した時間を過ごしていると感じることもできます。

## 「忙しい」と「充実している」の違いはどこにある？

学校生活のなかで忙しいと感じるのは、「あれをやらなければならない」「次はこれ」と行事や予定と共に追い立てられるような感覚を持つとき、目の前のことしか見えなくなっているときです。

そこでちょっと考え方を变えて、今日の前にあるやらなければならないこと、それが何に繋がっているかを考えましょう。校外学習の準備は事後の「楽しかった」に繋がっています。日々の学習はテスト後の「頑張った」、生徒総会に向けての討議は自分たちの学校生活を「快適に」、総合体育大会に向けた部活動での練習は試合後の「やりきった」に繋がっています。「楽しかった」「頑張った」といったプラスの感情を感じるときが充実しているときなのです。

「忙しい」と「充実している」は違いのある全く別のものではなく、考え方で変わり、目の前のことをやっても、それが何に繋がっているか、見通しを持つことで効率アップも期待できます。この6月が皆さんにとって充実した時間となることを願っています。

## 《保護者・地域の皆様へ》

昨年度は四国、岡山方面で実施した修学旅行を今年度は2泊3日で伊勢、京都方面において実施します。また、昨年度の1学期には実施できなかった校外学習を1年生は三木山森林公園、2年生は京都で実施する予定です。まだまだ新型コロナウイルス感染症への対応が必要ですが、生徒たちが体験から学ぶ機会を大切にしたいと考えています。

また、暑さが増してくる季節となりました。給水やマスク脱着のタイミングなど熱中症対策をはじめとする生徒の健康面にも配慮しながら教育活動を進めます。

学校長 坂田 直裕

